

## 「抗てんかん薬」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目につきまして、日本TDM学会「抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018」に準拠し、有効治療濃度を変更することとなりましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧
142	2002	フェノバルビタール	有効治療濃度	トラフ 10.0~40.0 $\mu$ g/mL	15.0~40.0 $\mu$ g/mL
142	2006	フェニトイン	有効治療濃度	トラフ 10.0~20.0 $\mu$ g/mL (成人・小児) (新生児 8.0~15.0)	10.0~20.0 $\mu$ g/mL (乳幼児、年少児 5.0~15.0)
142	2008	カルバマゼピン	有効治療濃度	トラフ 4.0~12.0 $\mu$ g/mL (他の抗てんかん薬 併用時は 4.0~8.0)	4.0~10.0 $\mu$ g/mL
142	2010	バルプロ酸ナトリウム	有効治療濃度	トラフ 50.0~100.0 $\mu$ g/mL	50.0~100.0 $\mu$ g/mL

※その他の検査要項に変更はございません。

#### ■変更期日

●2020年4月1日(水)受付日分より